# 越川伸先生、教育功労者として表彰さる

県の教育委員会では毎年十一月一日に、県下の学校教育、社会教育振興に特に功績のあった者を教育功労者として表彰していますが、永年にわたり社会教育への功績が高く認められた町社会教育委員会議長の越川伸先生が、晴れの表彰を受けられました。

社会教育関係者で今年の表彰を受けた個人は五名で、当町での授賞はこれがはじめてです。これを契機に更に一層の指導助言を、皆さんとともにお願いしたいと思います。

# 政治はあなたのもの

## 明るく正しい選挙運動に関心を

選挙が民主々義の基礎的なルールであることは今更多言を要しないところです。立派な政治は、立派な代表なしには実現しません。その代表は民主々義社会では選挙を通じてのみ選び出される。このように大切な代表者を選び出す選挙が正しく、明るいものであり、本当に国民のものとならない限り、立派な政治を期待することはできません。

選挙を公明なものにしようとする運動は、心ある先覚者たちの間から盛り上がってきたところの一つの国民運動であります。今まで行なわれた数多くの選挙の実態をみるとき、ゆがめられた選挙が政治をゆがめていることは推察できるところです。選挙に多額の金が必要であるということのみをとらえてみても、この金が政治をゆがめていること、更にその政治から次の選挙がゆがめられていくことの悪循環が、国民の目にあまりにも明白であるといえます。

選挙に買収、供応がつきまとっている現実は、それらの悪質な違反を行なう候補者、運動員がいるとともに、この違反行為を受け入れる要素があることにあります。このような要素を取り除くことができない限り、いかに立派な法律ができても、所詮絵にかいた餅にしか過ぎないことになってしまいます。もちろん法律の整備や、違反者の厳罰も必要ではありますが、これはあくまで車輪の片側のことであって、他の一輪はどうしても国民の自覚と主権者意識の向上に待たざるを得ないものであります。そしてこの主権者意識の向上が、民主々義の基礎を強固なものにするものであると言えます。

# 議会だより

## ▽十一月臨時議会

昨年十一月十四日午前九時からひらかれた臨時町議会は、金議員が出席して二議案を可決しました。

上程された議案は次のとおりです。

一、助役選任について

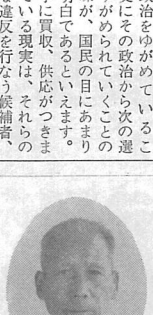
助役川島克己氏は昭和四十一年一月十三日で任期満了になりましたが、この議会で同意を得て再び助役に選任されました。

一、町有地の処分について

字宮川前にある町有地約二〇アールが真栄商事株式会社へ、字鶴巻に所有する約五〇アールは利根水産株式会社にそれぞれ地方自治法の規定により議会の議決を経て売り渡たすことになりました。

# 編集室の窓から

広報編集委員長　助役　川島　克己



1967年の初春を迎えお目出とうございます。

ひかり広報も町が合併して3年目の昭和32年の1月創刊以来ここに満10年の歳月を迎えました。

町政の実態をご理解願う資料として創意工夫に努め町民皆々様と直結した広報になるよう編集委員一同努力してまいりました。

今や民主国家の確立した現在の世相には町村行財政に一段のむずかしさが加わってまいりました。

即ち社会福祉、環境衛生、文化、教育、農村後継者対策、青少年の健全育成、人事管理等町だけの単なる関係に止まらず、これら諸問題については、市町村広域行政に取りあげ研究して適切なる実施を図り住みよい社会を造るべく努力する次第です。

すべての情報を少ない紙面を活用し出来得る限り町民の皆様方にご報告申しあげると同時に町民の声をお聞かせくださるよう、お願い申しあげ新年のご挨拶と致します。

# 成人おめでとう

一月十五日は、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」成人の日です。

町ではこの日、あらたにおとなの仲間入りをする皆さんを祝い励ます意味をもって、成人祝賀式を行っていました。

しかし年々華美になる式服に頭を悩まし、咋年の成人式は試みとしてバスを利用した町外での成人式を実施したところ、皆さんに大変喜ばれ成功いたしました。そこでこの春の成人式も同様に、町外での成人式を行い、次代をになう皆さんを祝い励ます計画です。

今年の該当者は昭和二十一年一月十六日から二十二年一月十五日の間に生まれた男女で、住民票によれば百七十余名が該当します。成人者とその家庭には案内状を差しあげましたが、住民票で該当者を調べましたので、同級生でも住民票がおいてない方には案内状は差しあげてありません。

町外に出ている方でも申し込みがあれば光町でも受けつけますので、教育委員会事務局へ早めにお申し出ください。

# 年頭の辞

商工会長　桑田　勝治

あけましておめでとうございます。

迎え皆様のご多幸を心からお喜び申し上げます。外に貿易の自由化に伴う国際間の経済競争の激化、内には経済の高度成長のひずみより生じた物価及び労働賃金の上昇、金融面では昨年上半期は倒産続出、手形の不渡りが激増したため千葉銀行横芝支店に於ても手形交換所が実現するなど我々小規模事業者にとってはきびしい一年でありました。

しかし商工会の基本方針はあく迄も小規模事業の育成指導を中心として特に金融、商工業、観光、青年対策に配慮して参った次第です。金融においては国の制度金融、町の小国融資制度商工貯蓄共済制度等低金利貸付の政府系金融の活用をもって健全な発展を助長し、商工業対策としては本年度漸く念願の街路灯設置の気運を喚起して約百灯の予約を決定せしめ町当局へも働きかけ絶大な御後援を賜る段階となりました。経営の近代化は青年層の団結と協力に俟つものがあることを思い特にスポーツを通じて健全なる思想体系を確立することを痛感、忠実に努力していることを会員各位に訴えて吾々の商工会である認識を新にして頂き各位の自発的ご協力を賜りたいと存じます。過ぎし昭和四十一年にもいろいろの感想があると思いますが商工会の意義ある仕事の中にまた新しい喜びと苦しみを求めて明日への繁栄をねがい私の挨拶といたします。

尚光町商工業協同組合月販部運営については県下チケット販売の実情を他山の石として慎重な企画と運営を期し役職組合員ともども努力した結果十一月末を以て既に年初の売上目標を超え前年同期に比し六一七万円増の実績をみたことこれ偏えに諸賢のご協力の賜と感謝いたします。商工会が法制化されて以来六年を経て小規模事業指導の成果は益々重要性を加えて参りました。政府の強い保護育成にはますます関係者皆さんの御協力を特に、お願いいたします。

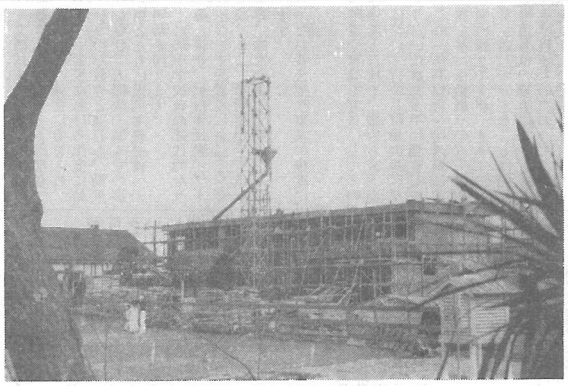
# 待ちどうしいな　新校舎

## ＝白浜小まもなく完成へ＝

昨年七月二十六日に着工した白浜小学校校舎は、鉄筋コンクリート二階建で町ではじめての建物です。この改築工事は、着工後、請負った株式会社畔蒜工務店の積極的な仕事ぶりで、予定を上廻る順調な作業が進んでいます。十二月現在でコンクリート工事、建具工事、木工事、給排水工事など主要な部分が完成または完成直前になりました。

したがってこれまでの進み方で工事が行われると工期を大巾に残して全工事が完了するものと思われます。

六月におよんで、きゅうくつな校舎で勉強してきたよい子たちが、近代的な新らしい教室でのびのびと学習できるのも間もないことになりました。



＜写真は　完成ま近い白浜小＞

# ▽普及所だより△

## 農業近代化を現実のものとして

具体的に農業近代化への課題を解決する為に、町政によって幾つもの施策が講じられていますが、我々県の出先機関として、特に重点的に協力し、その目的達成に努力しなければならない問題が山積されております。

いくつかの代表的な事例を取りあげて見ますと、農業構造改善地域や土地改良跡地における経営設計にもとずく生産の合理化、大型機械の導入による水田利用の高度化を図る水稲高度栽培の推進、農村の家族制度への反省と、新しい農村のあるべき姿として現在関心を集めている親子契約の実践、衣食住、家庭管理の問題、各種制度資金利用の前後指導、生産技術等の面より見れば、町一円の立地条件を生かした、そさい園芸産地を目標とする産地形成、経営の中心である水稲作の安定と省力化、畑作に対する一般技術指導や、種豚、肉豚の生産団地の促進等いづれも大きな課題であり、早急に解決されるものではありません。

行政区域内での仕事は、この様に数多くありますが、より効果的に仕事の配分を考えて計画にもとずいて、その仕事の大きさ重要度、必要性、緊急を要するか等、町と農家の接点をより密接にして活動をして行きたいと思います。

この意味では、普及事業も以前の形とは幾分性格が変って来ております。

行政区域内での特色に応じた体制と仕事が有る訳です。新しい町ずくりのよき協力者として真剣に仕事と取りくんで、農業を魅力ある職業とし、農村を楽しい生活と意欲的で近代的な生産の場としたいものです。

# と畜場の現況

明治四十三年五月に開設した町営東陽と畜場も、幾度かの増改築によって現在に至ったのでありますが、別掲のとおり、と畜頭数も年々増加の一途にあり、特に本年度は飛躍的な、と畜頭数が予想されますが関係者皆さんの御協力を特に、お願いいたします。

◎四十一年度月別と畜頭数

| | | |
|---|---|---|
| 4月 | 7,991 | 頭 |
| 5〃 | 7,903 | 〃 |
| 6〃 | 8,311 | 〃 |
| 7〃 | 9,175 | 〃 |
| 8〃 | 10,937 | 〃 |
| 9〃 | 11,371 | 〃 |
| 10〃 | 10,306 | 〃 |
| 11〃 | 10,015 | 〃 |
| 11月まで計 | 76,009 | 頭 |

◎年次別と畜頭数

| | | | |
|---|---|---|---|
| 昭和29年度 | | 10,704 | 頭 |
| 〃 30 | 〃 | 13,015 | 〃 |
| 〃 31 | 〃 | 17,961 | 〃 |
| 〃 32 | 〃 | 19,347 | 〃 |
| 〃 33 | 〃 | 27,207 | 〃 |
| 〃 34 | 〃 | 36,029 | 〃 |
| 〃 35 | 〃 | 33,623 | 〃 |
| 〃 36 | 〃 | 49,114 | 〃 |
| 〃 37 | 〃 | 73,522 | 〃 |
| 〃 38 | 〃 | 66,920 | 〃 |
| 〃 39 | 〃 | 70,461 | 〃 |
| 〃 40 | 〃 | 83,882 | 〃 |

# 東陽病院で企業会計採用

十二月一日から実施

光町、横芝町、野栄町の三町組合立の東陽病院は、従来各町と同じく官庁会計方式がとられていたが、去る七月地方公営企業法が改正され、病院事業にも財務規定等が適用されて、昭和四十二年度からは全面的に企業会計が取入られることになった。東陽病院は来年四月を待たず去る十二月一日から実施すべく条例を改正し、資産の調査、予算の編成その他の準備を進めていたが、去る十一月二十四日の病院組合議会で承認可決されたので、十二月一日から企業会計実施に踏みきった。

企業会計では官庁会計の如く金銭受授に関係なく、債権、債務の発生毎に記録され、日計表に集録され、毎月の試算表を作製、各町長に送付を義務づけられ、決算には決算報告書が作成され、予算との比較が明らかにされる。又決算には精算表、損益計算書、貸借対照表、剰余金計算書又は欠損金計算書が作成添付されることになる。

以上の如く東陽病院の経営状況は今後は町民各位の前に明瞭に示されることになった。

町が公立病院を経営するのは町民福祉のためで、これがため或る程度の失費は止むを得ないものとされてきた。

しかし町民福祉も大事であるがこれと併行して企業である以上、今後これが独立採算が出来るよう経営の合理化も求められていますので、今後とも町民各位の御協力を切にお願いいたします。

・・・

# 宏之ちゃん入賞

県赤ちゃんコンクールで十月に行なはれた八日市場保健所での予選で堂々一位になった越川宏之ちゃん（四〇・十・九生世帯主越川和夫さん＝二又、お母さん＝美代子さん）は十一月八日千葉市でひらかれた県下の赤ちゃんコンクールに出場、みごとに優良賞をかちえました。こんな立派な赤ちゃんが町中にそだつようにしたいものですね。